

ベビーサインってなあに？

ベビーサインとは言葉をうまく話せるようになる前の赤ちゃんと

手話やジェスチャーを使ってコミュニケーションをとる育児法です。

赤ちゃんは話し始めるよりずっと前からいろんなことを考え、周囲の人とお話したいと思っています。ところが、言葉を話すために必要な発声器官の発達には長い時間がかかるので、話したくても話せないのです。そこで、より簡単な手の動きを使って「お話し」する方法を教えてあげると、赤ちゃんはよるこんで使い始めます。それがベビーサインなのです。



ベビーサインはアメリカでは20年以上の研究実績があり、国の予算が研究に与えられたり、保育所や幼稚園等の育児の現場で実際に利用されるなど、学術的な実績と、育児の現場での実績を双方備えた育児法です。サインを利用することは下記のようなメリットがあると考えられています。

ベビーサインのメリット

1. 親子の絆がより強まる

ベビーサインをしている赤ちゃんの姿は本当にとてもいとおしく、気持ちがわかった、笑えたというエピソードがとて多くなります。イライラがたくさんの笑顔に変わるステキな育児法です。

2. 話し言葉の習得に好影響がある

ベビーサインという簡単な言語を使った赤ちゃんは、モノの名前やその使い方を早くから理解します。ママと「お話し」できた喜びは話し言葉をどんどん覚えていこうというやる気にもつながります。米国の研究ではベビーサインをしていた子はそうでない子よりも語彙が豊富になると報告されています。

3. 育児がより楽しくなる

お腹がすいたら【ミルク】、ボールで遊びたいなら【ボール】と赤ちゃんが泣かずに欲求や気持ちを伝えてくれるので、赤ちゃんにとってもママにとっても、フラストレーションが大きく減ります。

4. 赤ちゃんの健康と安全に役立つ

【痛い】のサインを教えると、周りの大人が気づいてあげられない痛みを赤ちゃんから教えてくれるようになります。また、【熱い】、【危ない】などのサインは危険防止に役立ちます。

ベビーサインQ&A

☆ いつから教えるの？

ベビーサインを始める時期は赤ちゃんの発達によって個人差がありますが、ベビーサイン協会では6ヶ月～1歳半をベビーサインを教える適齢時期として奨励しています。お座りができるようになった頃から始めることができます。また、歩き始めてからだとよりサインを早く覚えることができます。

☆ どうやって教えるの？

普段の生活でママが語りかけに手を添えてあげるだけでOKです。サインを覚える時間を作ったり覚える数を決めたりする必要はありません。目にするものや触れるものを「お手で表現するところなんだよ」と、語りかける時に手の動きを見せていると赤ちゃんはだんだんとベビーサインを理解していきます。

☆ 教える自信がないのですが、

【ベビーサインを始めてみたいけど、自信がない】「途中で挫折しそう」。よくあるママの声です。ベビーサインは本やDVDで学ぶこともできますが、楽しく続けたいママはお近くのベビーサイン教室をチェック！まずは体験教室やイベントに参加してみてください。

☆ 最初に教えるサインは？

始めてのおすすめサインである【ミルク】【もっと】【おしまい】を教えましょう。サインを見せることに慣れてくれば、少しずつ数を増やしていきましょう。見せ始めてもすぐには赤ちゃんからの反応は返ってきません。赤ちゃんがママのお手での動きに気づいてにっこり笑ってくれば順調なスタートです。

☆ 誰でもできるの？

全国のベビーサイン教室には毎年1万人近くの親子が参加していますが、そのほぼすべての赤ちゃんがベビーサインを使えるようになっています。教え方のコツさえつかめば、あなたの赤ちゃんもきっとベビーサインが使えるようになるはずです。

全国のベビーサイン教室、体験教室はベビーサイン協会のホームページから検索！



ベビーサイン協会

検索

<http://www.babysigns.jp/>

babysigns 一般社団法人 日本ベビーサイン協会
Email: support@babysigns.jp TEL: 078-332-7884 FAX: 078-332-5619
兵庫県神戸市中央区東町123-1貿易ビル9F

ベビーサインは日本ベビーサイン協会、および米国BabySignsInc.の登録商標です。
日本ベビーサイン協会は認定講師の育成、派遣、ベビーサインの普及活動を行っている日本で唯一の団体です



日本ベビーサイン協会HP